

# 西要寺だより

第99号 令和2年11月7日

## ●報恩講法要をお勤めしました

10月23日（金）24日（土）の両日、午後2時より報恩講法要をお勤めさせていただきました（三密を避けマスク着用で）。

午後2時よりお勤めをし、2時30分過ぎより45～50分ほどの間、高槻市 常見寺住職 利井唯明先生（本願寺派布教使）のご法話を聴聞させていただきました。まだまだコロナが終息しないということもあって、法話の時間を短縮し、また途中休憩無しということで、午後3時半過ぎに終了しました。

このように行事をするということは、コロナ感染のリスクが常に付いてまいります。何故この時期に行事をするのかということですが、コロナに罹ったら、特に高齢者の方は命に関わる危険性がある、ということなので出かけることを止めておられる方は多いです。しかしながら、出て行けない、となると余計にストレスを感じてしまう。コロナ以前の何も無い時に、出て行かないのとでは全く違います。テレビなどの報道機関では、この頃、各地で観光客が戻ってきた、と報道されていますが、そのほとんどは比較的若い方ようです。

皆さんストレスを感じておられるなかで、是非、お寺に来ていただき、法話を聞いていただきたい、お勤めをしてお寺の雰囲気を感じていただきたい、人と会って話をし、少しでもストレスを和らげていただきたい、という私の気持ちもあって、永代経法要、お盆会法要、そして今回の報恩講法要をお勤めさせていただきました。行事を主催する私どもとしましても、コロナ感染のリスクを少しでも減らすべく、アクリル板を



設置し、本堂の椅子、出入り口などの消毒を毎日させていただきました。そして、参詣される方のマスクの着用をお願いしました。なお、アクリル板は一道会から寄付をしていただきました。有り難うございました。

なお、今回の法要を動画配信したいと思っておりますが、なかなかそこまでまだまだ手が回りません。もう少しお待ち下さい。

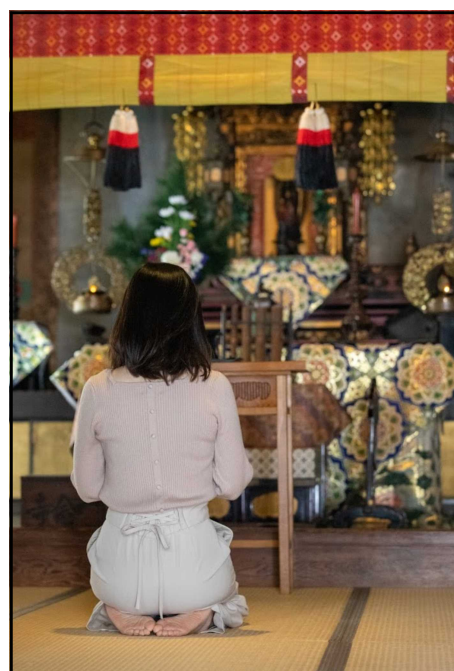
## ●浄土真宗本願寺派のメッセージポスターから思うこと

浄土真宗本願寺派では、メッセージポスターを制作しているということ、皆さんご存じではないですか。報恩講法要の時に少し話をしましたが、(^\_^)。

多くの皆さまは、コロナ感染症の終息が見えなく、感染リスクを心配しなければならないという不安な生活を送っておられます。また、テレビなどの報道機関でも、コロナについてさまざまな情報が伝えられていますが、かえって不安な気持ちにさせられます。そういった不安で落ち着かない気持ちをもっておられるすべての人に向けて、浄土真宗本願寺派ではメッセージポスターを制作しています。西要寺におきましても、お寺の南と北の掲示板に、そのポスターを貼っています。

そのなか、右上の写真のように、お仏壇の前に座っていると、なぜか落ちつく、ということはないですか。仏壇の前に座り亡くなったお父さん、お母さん…と会話されているという方もおられることでしょう。

また、報恩講法要など各種行事を行っている私の気持ちを前述していますが、お寺に来ていただき、本堂に座っていただくことで、仏壇の場合と同様に、いやそれ以上に落ちつく、ということがあり



ます。法話を聞いたり、みんなでお経をあげたりすることで気持ちが満たされるということもあるでしょう。法話の意味はそれほどわからないけれども、ただ阿弥陀さまの前に座っている、それだけでほっとするということもあるでしょう。

以前、京都のあるお寺に参拝に行った時に、お寺の本堂に案内していただきました。すると、外国人の方がただ仏さまの前（外陣 げじん）に座っておられました。その方と直接、話ををしたのではありませんが、その方はお寺のなんとも言えないお堂の雰囲気魅せられて、ただただ座っておられたのではないのでしょうか。自分勝手な判断かもしれませんが、何となくその気持ちが伝わってきました。仏さまのはたらきは目に見えませんが、その仏さまのはたらきを肌で感じておられたのではないのでしょうか。

そのような経験を私もしたことがあります。決して理屈ではないですし、説明もできませんが、、、。

### ●令和3年年回表（カレンダー（来年）の後ろに付けています）

今年もあと2ヶ月を切りました。今年もカレンダーを配らせていただきますが、いつもカレンダーの後ろに付けています年回表について、話をさせていただきます。

例年でしたら、一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌。十七回忌、二十五回忌、三十三回忌、五十回忌と案内させていただいておりますが、今年も、二十三回忌、二十七回忌も加えました。これって、「二十三回忌、二十五回忌、二十七回忌と全部しないといけないですか？」と聞く人がおられます。もちろんそれら法事すべてを行っていただいても構いませんが、2年ごとで大変ですよ。

<p>※三回忌以降は、七回忌、十三回忌、十七回忌、二十五回忌、三十三回忌、五十回忌を行います。 なお、二十五回忌を三十三回忌、二十七回忌に分けて行う場合もあります。</p>		<p>五十回忌 昭和四十七年 三十三回忌 平成元年 二十七回忌 平成七年 二十五回忌 平成九年 二十三回忌 平成十一年 十七回忌 平成十七年 十三回忌 平成二十一年 七回忌 平成二十七年</p>	<p>三回忌 令和元年 一周忌 令和二年</p>	<p>令和三年年回表 (ごくなられた年)</p>
--	--	---	------------------------------	------------------------------

ホームページ  
saiyouji.com

Instagram  
saiyouji.a

**浄土真宗本願寺派 西要寺**

〒661-0024 尼崎市三反田町1丁目7-27  
電話 06-6429-8241 FAX 06-6429-8239

↑  
最終ページに  
年回表掲載

いやこれは、二十五回忌を二十三回忌、二十七回忌と分けて法事をされてもいいですよ、ということです。たとえば、こういうことでもいい

です。3年後に二十五回忌が当たるけれども、それまで元気でいられるか心配と思われる方（そう仰いながら大丈夫な方がほとんどなんです（'!\*'））そういう方は、来年に二十三回忌をされてもいい、ということです。詳細につきましては、ご相談ください。

### ●住職の今年度の予定（報告）

今年4月から、毎週金曜日に龍谷大学（瀬田）の講義を担当しております。午前11時からの講義です。後期（9月以降）も、前期（4月～7月）の講義と同様に、コロナウイルスの影響でインターネットを介してのオンライン講義になりました、と前号で書きましたが、10月中旬に急遽変更となりまして、対面授業となりました。私（住職）は毎週金曜日に龍谷大学瀬田学舎まで出講しますが、いままで通り前住職がお参りに伺います。宜しく願いいたします（^^）

### ◎今後の西要寺行事予定◎

※定例法座につきましては、以下のように2～3ヶ月に一度、お勤めさせていただきます。

【定例法座】11月 中止

【定例法座】12月22日（火） 午後2時より

【新年会】1月 中止

※毎年、新年会を行っていましたが、役員の方々と相談の結果、中止とさせていただきます(>\_<)

【定例法座】2月 中止

【定例法座】3月22日（月） 午後2時より

※いずれも西要寺本堂でお勤めさせていただく予定をしております。

なお、法要の時間は短縮させていただきます。コロナ感染状況によっては、中止させていただく可能性もあります。今後の状況を見通せないということをご理解いただきたく存じます。

●なお、開催の有無等の詳しいことについては、西要寺ホームページ、西要寺の南と北の掲示板などでお知らせします。また、直接、西要寺まで問い合わせいただいても構いません。

◎次号はなんと100号になります👉パチパチ。次号で今までを少し振り返ります（^^）